

令和2年度（2020年度）第11期

第4回越谷市廃棄物減量等推進審議会

会議録

令和2年度（2020年度）第11期第4回越谷市廃棄物減量等推進審議会

1. 会議名：令和2年度（2020年度）第11期第4回越谷市廃棄物減量等推進審議会
2. 開催日時：令和2年（2020年）12月21日（月）午後1時30分～午後3時15分
3. 開催場所：越谷市中央市民会館 5階 第2・第3会議室
4. 出席者等
 - (1) 出席委員：須田芳恵委員、富沢二三子委員、西口元勝委員、堀井捷一郎委員、河上繁委員、中村千代子委員、小松登志子委員、浅井勇一郎委員、川寄幹生委員、栗田晴巳委員、久保直紀委員、櫻井孝史委員
 - (2) 傍聴者：1人
 - (3) 事務局：鈴木環境経済部長、五十嵐環境経済部副部長兼環境政策課長、會田リサイクルプラザ所長、飯田リサイクルプラザ副所長、長門主幹、小林主幹、和田主査、仲田主事
株式会社総合環境計画2名
5. 内容
 - (1) 議事
越谷市一般廃棄物処理基本計画の策定について
 - 1) パブリックコメントの結果について
 - 2) 越谷市一般廃棄物処理基本計画案について
 - 3) 越谷市一般廃棄物処理基本計画概要版の作成について
6. 会議資料
 - ◎次第
 - ◎第11期第4回越谷市廃棄物減量等推進審議会出席者名簿
 - ◎計画策定スケジュール
 - ◎越谷市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）素案
 - ◎素案に対するパブリックコメントの概要
 - ◎越谷市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）案の修正箇所一覧
 - ◎越谷市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）案
 - ◎越谷市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）概要版案
 - ◎令和2年度版越谷市一般廃棄物統計資料（平成31年度実績）
 - ◎一般廃棄物処理基本計画（平成24年度 改訂版）
 - ◎基礎調査結果報告書
 - ◎市民・事業者意識調査結果報告書

※ペーパーレス会議の推進を図るため、タブレット端末を使用して説明

令和 2 年度（2020 年度）第 11 期
第 4 回越谷市廃棄物減量等推進審議会

発言者	審議の内容（審議経過等）・発言内容
	<p>(1) 越谷市一般廃棄物処理基本計画策定について 1) パブリックコメントの結果について</p>
議 長	議題 1「パブリックコメントの結果について」、事務局より、報告及び市の考え方の説明をお願いします。
事務局	《 パブリックコメントの結果報告 》
議 長	ただ今の報告及び市の考え方について、ご意見やご質問がありましたら、よろしくお願ひします。
委 員	市の考え方の第 3 章第 1 節の災害廃棄物処理計画についてはこれでいいと思いますが、パンフレットの作成とか普段配るカレンダーの後ろとかに、最低限のことは書いておいたほうがいいのではないかなと思っています。災害時は少なくともすぐに出さないでほしいなど、一つ考えて書かれたほうがよいのかなと思いました。
事務局	委員からの指摘もあつたとおり、計画書にも、排出方法等の広報をやっていきますということになっていますので、分かりやすい、覚えやすいというところを注意しながら、今後、広報については十分やっていきたいと考えております。
議 長	ごみ収集カレンダーは年に 1 回、配布するのですか。
事務局	そうです。
議 長	委員の意見で、ごみ収集カレンダーにも書いたほうがいいのではないかということですが、何か検討される予定はありますか。
事務局	ごみ収集カレンダーについては、今も情報が溢れかえっている状況になっていますので、分かりやすい形で出せるスペースがあれば、今後、検討していきたいと思ひます。
議 長	その他にございますか。
委 員	施策 3-2 の戸別収集と、施策 3-3 のごみ袋有料化についてですが、以前、大学のオー

	<p>ブンカレッジで草加や越谷の方たちに授業をやったときに、有料制についてどうですかという話をした時は、みんな絶対に嫌だという感じでしたが、今回、このアンケートでは、あまり否定的な意見が入ってないので、個人的な印象とは違っていました。</p> <p>単なる削減手段として採用するのか、あるいは受益者負担の促進という目的で採用するよりも、戸別収集を行うというような行政サービスの向上や拡充のための財源をまかなう方法として検討したほうが、理解されやすいのかなという印象がありました。</p> <p>あともう1点、戸別収集についてですが、これは恐らく地域によって必要としている度合いが変わってくると思います。集合住宅や駐車スペースだけの戸建てが多くて、家と家との距離が短く、個々の家から集積所までの距離が近い市街地よりも、広い庭や畑がある戸建てが多くて、家と家との距離が離れていて、それぞれの家から集積所までの距離が離れているような郊外の地域の人たちのほうが、ごみを出す手間が増えてきますから、必要としているのではないかと思います。賃貸の集合住宅、市街地と比べて、郊外のほうは居住者の入れ替わりが乏しくなってくると考えられますから、時間の経過と共に高齢化しやすいのは恐らく郊外だと思いますので、戸別回収の需要も、これからそういう地域で高まっていくのかなと思います。</p> <p>一方でそういった郊外の地域というのは、屋敷林を持つ家が多いですから、庭ごみが出やすくなってくるということも考えられますし、通勤、通学で他の地域に移動するということも減ってきますから、在宅時間が長くなると、そういった地域のほうが、ごみが増えやすくなるのではないかなと思うんですね。これらの庭ごみは、生活環境の衛生や美観や安全を保つためには処理しなければならないものですから、有料制が開始されて、自分たちの負担を減らすために排出を減らそうとなったとしても、必需的なものだからどうしても出さなきゃいけないということで、他の地域に住んでいる人たちよりも相対的に強い負担を強いることになると考えられますから。屋敷の庭、畑などを持つような、昔からその地域に住んできた人たちは、高齢化が進んでいることも懸念されますから、そういった世帯に過度な負担にならないように、何らかの補助も検討していく必要があるのかなと思いました。</p>
議 長	今のご意見に対して、事務局のほうから何かありますか。
事務局	委員のおっしゃるとおりで、越谷市だけではなくて、広域で可燃ごみについては処理していますので、5市1町の圏内で有料化する品目についても、可燃ごみだけなのか、それ以外のものも含めるのか等、今後のごみ処理に関わる個人の費用負担も十分に勘案した上で、有料化なり指定袋制が必要かどうかということを見極めた上で、5市1町で連携して検討していきたいと考えております。
議 長	その他にご意見があれば、どうぞ。
委 員	個別施策 1-1-③の二つ目のところの下に、海洋ごみのことについて、記載していただ

	<p>くとありがたいです。</p> <p>『プラスチック・スマート』そのものは環境省の取組みで、こちらから登録するはずですので、ノーというわけではないのですが、推進という言葉が気になりました。また、2行目に『市民・事業者などの主体が連携・協力して』とあるのですが、海洋問題、特に越谷の場合は内陸にありますから、海がないといった中で、具体的にどうやるのかということ、ヒントとしてやっぱり一文あったほうがいいのでは。川から海に行くという説があって、ポイ捨てをしない、不法投棄をしないということの啓発活動が非常に重要だと我々も認識して、さまざまやっているわけですが、『主体が連携・協力し』というよりは、市も中心として、ポイ捨て防止、不法投棄防止の啓発を行うという趣旨の一文がそこに加わったほうがよいのではないかと思います。</p> <p>現在、国のプラスチック資源循環戦略のパブコメを募集しておりまして、その中でも海洋問題について国にお願いすることとして、全国的なポイ捨て防止の普及啓発をやるべきではないかみたいな意見を申し上げているわけですが、そういう趣旨のことをここに追記をしていただいたほうがいいのかと思います。</p>
議 長	<p>今のご意見に対して、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>個別施策 3-4-①、埼玉県の実業である海ごみゼロウイークのほうで記述させていただいています。事業の住み分けというような形で、記載させていただいております。</p>
委 員	<p>申し上げた趣旨は、いわゆる海ごみというより不法投棄防止に特に力点があるのだと思いますし、海洋ごみというより、本当はこの地域ですと川ごみ防止だと思います。そういう趣旨での不法投棄をやめるということが、条例等で決まっているのですが、市民になかなか浸透してないとか、旅行者についても不法投棄は気軽にやってしまう。これを防止するという意味での普及啓発をやっていくということが、全国的に行われるべきではないかという思いがあり、そういう趣旨のことが文章に出てきたほうがいいのかと思って申し上げた次第です。</p>
事務局	<p>整理させていただいて、必要なところは記載させていただければと思います。</p>
議 長	<p>それでは議題1はこれで終了させていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、議題2「越谷市一般廃棄物処理基本計画案について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>2) 越谷市一般廃棄物処理基本計画案について</p> <p>◀ 越谷市一般廃棄物処理基本計画案について説明 ▶</p>

議長	どうぞ。
委員	注1、注記の書き方について、例えば25ページですと、何に対する注意書きなのかを明確にしていますが、明確にしていないところもあります。あと、注1、注2、注3の数字が上付きになっているなど、表記の仕方を統一してもいいかなと思いました。
事務局	再度、見直しをして、分かりやすい注意書きの表記に改めたいと思います。
委員	<p>プラスチックごみの一括収集、リサイクルも検討すると書いてあるのですが、これを越谷市の場合、例えば一括回収やるっていうことは、容器包装のリサイクルルートと一緒に集めるっていうのはセットになるような話になってきています。検討した結果、何もしないということはあるのでしょうか、そっちへ舵を切るのかなと考えてしまうと、5市1町でやっている焼却の設備がどうなのだということの関係が出てくるとか、いろいろあると思われます。</p> <p>国の動向だけを見る話ではなく、地域性も勘案するという話があって、かなり制度変更の大きなことを目指しているようにも思いますし、地域循環の制度のこともあるし、検討するということになるのですが、やる方向でと読めてしまいます。先ほどのアンケートとか意識調査を拝見すると、現行制度を維持するのが60パーセント以上ある中で、これをどう取り上げて書くのか、非常にデリケートな話だなというのが率直な感じですが、直すべきではないのだと思うのですが、将来どう対応するか、「この地域の地域性も考えて」くらいの一文があったほうが、後々いいのかなと思います。ちなみに、一括回収をすることの費用の問題等々も出てくると、前向きに取組みますというニュアンスでよろしいのかどうか、非常にデリケートな話ですが、ちょっと気になるところです。</p>
議長	今のご意見について、いかがでしょうか。
事務局	あくまでも今後検討しますというところになります。今のところ、費用負担が国なのか市なのか、事業者なのか、その割合等について示されていない。現状でも熱回収はしているとはいえ、今、ペットボトルと白色トレイ、容器包装ということであればやっていますが、その他のプラごみ、それ以外の容器包装というものについても、今後の情勢を考えたときに、何も手を出さずに済むということは、多分この10年間のうちでは無理なのだろうなと思います。その辺も含めて、できるものからやっていく、今の状況で回収方法を特に変えなくてもできるものはないだろうかということも含めて、検討していきたいというところで、こういう表現を使わせていただいています。
委員	多分、一括回収というワードが引っかかったのだと思います。一括回収は容器包装プラと明確に書いてあるので、トレイとペットボトルを中心という話になると、そこから外れると思うんですね。ですから、それも含めて全て集めるよとどうしても読めてし

	<p>まうと思います。一括回収というよりは、プラスチックの新たなリサイクルの制度と言ってしまうと、用語の使い方としてはその方がある程度、無難かなという気がします。我々も先行きが見えなくて、あちこち情報収集をしています、どこの市町村でも悩まれているような感じです。</p> <p>このケースの場合だと、プラスチックのリサイクルを新たに行う制度というぐらいの方がよいのではないかという感じがします。</p>
議 長	<p>いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>専門家のアドバイスですので、一括回収してというところを削除させていただいて、文脈については筋が通るよう訂正をさせていただければと思います。</p>
議 長	<p>一括回収というのは、どういうメリット、デメリットがあるのでしょうか。</p>
委 員	<p>かなりのプラスチックの製品を一緒に集めて、資源投入量を増やすと書いてあって、ただし集めた物は容器包装リサイクルルートでやるというのが、一つの方法として示されています。ということは、容器包装のリサイクルルートを全体として、それに乗っけるというふうな話です。そこまでが国から出てきている本文に書いてあって、費用負担についてはどうも今のところ、容器包装は従来どおり事業者、製品プラは市町村と、こう言うておまして、書いてないのですが、非常にいろんなことが含んでいるというので、もちろん注目されると思うのですが、一括回収と区切るところではないか。</p> <p>ついでに申し上げますと、独自の仕組みで、廃掃法とは別なスキームでやることも検討するみたいなことも書いてあるので、全部、含めて新たな制度というワードにしたほうがどうもよさそうだなということです。</p>
議 長	<p>集めて溶融するのですか。</p>
委 員	<p>手法については、材料リサイクル、ケミカルリサイクル、それぞれ新たな研究開発をやって、新しい資源循環の仕組みを作る。その上で経済性、合理性を考えて、必要なものは熱回収も含む。今の技術の延長線ではなくて、新しい技術の積み上げのイノベーションと手法の組み合わせということを謳っているというふうに読めます。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。それではその文言を委員のご意見に従って検討していただきたいと思います。あと、SDGs ターゲットと実施施策の対応と、あそこで「SDGs ゴール」というのが出ていて、SDGs はゴールだからゴールと二つ続けて使わないので、ご検討お願いします。それでは本日、ご意見が出た内容を修正して、それでお認めいただくということでよろしいでしょうか。修正したものはまた見ることができますか。</p>

事務局	<p>次回の審議会のとしまでに修正したものを皆さんにお送りした上で、次回の時にそれで確認をしていただいて、その場で決定するという形をとりたいと思っています。</p> <p>直したところが分かるような形で、計画案を皆さんにご提示したいと思っています。</p>
議長	<p>分かりました。それでは本日出ましたご意見を元に、一部修正をして、それを再度、皆さんにお伺いするということになると思います。</p> <p>続きまして、議題の3「越谷市一般廃棄物処理基本計画概要版の作成について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
	<p style="text-align: center;">3) 越谷市一般廃棄物処理基本計画概要版の作成について</p>
事務局	<p style="text-align: center;">《 越谷市一般廃棄物処理基本計画概要版の説明 》</p>
議長	<p>それでは、何かご意見、ご質問がありましたら、どうぞ。</p>
委員	<p>雑紙のところで、『燃やすごみ』と書いてありますが、日常的に燃えるごみという言い方のほうが慣れていると思います。</p>
事務局	<p>燃えるごみという分別区分ですので、分かりやすい表現に直したいと思います。</p>
委員	<p>この「事業者のアクション」のところで、6分類ありますけど、これは統計的にこういうところから出てくるのが多いなど、そういう理由でこれを挙げたのでしょうか。</p>
事務局	<p>ある程度、越谷市内にある分かりやすいものでまとめている形になります。一応、市民に向けてのアクションを六つにしているので、対比しやすいように事業者のほうも六つにしているのが実際のところですね。その辺は皆さんの意見をお伺いした上で、中身についてもぜひ確認していただきたいなと思っています。</p>
委員	<p>事業者だと段ボールをごみ箱に使っていたり、そういうところはないのかなと思いました。あと雑紙、事業者の紙は結構あるので、やっぱり紙はちゃんとしましうみたいな。あと、やはり水切りは多分、事業者のほうの方が非常に大切で、逆に一般家庭より事業者のほうの方がベチャベチャの状態でするので、そういうふうに分けても本当はいいのかなという感じもしました。</p>
議長	<p>オフィス編とか製造業編じゃなくて、市民向けのように項目別にまとめたかどうかという、委員のご意見もあります。</p>
委員	<p>結局、許可業者に燃えるごみも出すわけですね。何でもかんでも燃えるからいいや、</p>

	<p>みたいな感じを出しているのを、もうちょっと考えて出しましょうという面で、紙は紙でちゃんと出しましょうとか、生ごみはやはり絞って出しましょうとか、そういう観点でいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>事業者ごとにするのか、品目ごとにするのか、どちらがより分かりやすいのかというところも含めて、検討させていただければと思います。</p>
議長	<p>分かりました。どうぞ。</p>
委員	<p>今のところですけども、事業者目線で見ると分かりやすいといえば分かりやすいのですが、他委員がおっしゃるように、違う角度でないのかなという感じもします。発生する種別とか量で考えたときには、業種ではなくて場面だと思います。あるいは事業者目線で見た場合には、もうちょっと整理された資料で見たほうが取り組みやすいということもあるのではないかと。これは市民の方には分かりやすいのですが、ビジネスの側から見ると、もうちょっと整理された違うフォーマットのほうが見やすい気がします。</p>
議長	<p>要するに業種別ではなく、もっと別の観点から書いたほうがいいということですか。</p>
委員	<p>発生量が多いとか、製造業なのか、物流業なのか、小売業なのか、物流センターなどのところか、食品製造であっても、小売店よりも中間にある卸センターのほうが大きいとか、いろんなところで発生状態のコントロールができるところがあると思います。そういう目線で見たときに、越谷の中には結構あると思うのですが、もうちょっと違う整理のほうが業種ごとに分かりやすいかなという感じがします。</p>
事務局	<p>それにつきましても、例えば食品ロスを避けるために、例えばごみとして出す前にフードバンクに出すとか、ごみにするときにはどういう捨て方をするなど、そういうことは業種ごとのほうが分かりやすいのかなという面があり、このような出し方をしていますが、両委員の意見を踏まえて、もう一度検討させていただきたいと思います。</p> <p>さらに皆さんからも、今日持って帰っていただいて、ぜひ意見をいただきたいと思っていますので、それも含めて直すべきところは直して、分かりやすい、読みやすいような形にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>意見がある場合は、いつまでにどういう形で出せばよろしいですか。</p>
事務局	<p>メールでも郵送でもファクスでも構いませんが、できれば1月22日の金曜日までに必着でお願いしたいと考えています。</p>
議長	<p>それまでに意見を出せば、2月2日の審議会のときに、最終案のようなものが出ると</p>

	<p>ということですか。</p>
事務局	<p>意見が少なければ直前になってしまうかもしれませんがお送りすることも可能ですし、意見が多ければ当日になってしまう可能性はあるかと思えます。</p>
議長	<p>他にご意見があれば、どうぞ。</p>
委員	<p>「市民のアクション」についてですが、これは何々しましょうという言い方だと、行政のほうから市民にお願いしてやりましょうというものが結構多いのですが、事業者のほうは何々していると言い切っています。市民のほうも、私は何々をしますというような目標のほうがいいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>この辺については、二パターン入れてみて、どちらが分かりやすいかなというところも含めて検討したいと思えます。委員からご意見があったとおり、「しよう」とか「する」などのほうがいいのかと思うのですが、そこまでではなくて、啓発みたいなもののほうがチェックをしやすいのか、その辺についても、できれば意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>同じく『目標に向けて市民のアクション』のページですが、右側の2番目のごみの水切りで、2項目の『生ごみは生ごみ処理機で処理したり、段ボールコンポストをしたりしよう』というところで、既に川越とかやっているところがあるのですが、こういう専門の機械でなくても、流しの隅にある三角の水切りで手で押してできるとか、私は処理機だとなんか難しいような感じがします。あと段ボールコンポストについて分からないので、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>機械だけではなく、三角コーナーみたいなものを利用した形で、そこに入れて、最後に押し込むと水が切れるというものがあつたりしますので、生ごみ処理機よりもそちらのほうが親しみやすいということであれば、そういう表現に変えることは構いません。</p> <p>段ボールコンポストというのは、たまに、ちょっと大きい家庭菜園ですとか、市民農園ですとプラスチックのようなものが置いてあるのを見たことがあるかもしれませんが、あれは機械を利用しないで堆肥化しているようなもので、それと同じような原理のものです。自然発酵のような形で生ごみ等を堆肥化するような構造になっています。</p>
委員	<p>市民の目線として、生ごみ処理機というと、なんか機械として構えてしまいます。だからそういう、通常家庭にあるものでも表現したほうがいいのかと思えます。</p>
議長	<p>この項目は『生ごみの水切り』ですよね。一つ目は水をしっかりとという表現がありますが、二つ目については、段ボールで水を切ったり、水を切る目的で生ごみ処理機を使</p>

	うということですか。
事務局	生ごみ処理機ですと、本当に乾燥させるのが主なものと、肥料みたいなものまで作るものと二パターンありますが、水切りで使っている家庭もあります。生ごみ処理機は水切りにはなりますが、段ボールコンポストは堆肥を作るのが基本ですので、水切りとはちょっと違うというのはご指摘のとおりだと思います。
議長	その他に、どうぞ。
委員	<p>「事業者のアクション」のところ、6事業に分けるというのではなくて、製造業の一番下に書いてある『フードバンクなどを活用している』というのは、製造業だけでなく小売業などは相当、活用していただいているところがありますので、そういう項目で必要なところは違う分け方に変えたほうがよいのかなと思います。あと、水切りについてはここにはあまり出てきませんが、どこの企業も相当、水を切って出せというのは絡むところであり、左の市民のほうに書いてあるのと、決して違ってないのではないかと。</p> <p>フードバンクとここに書かれていますが、表紙が一般廃棄物処理基本、ごみ処理と書いてあるので、ごみをあげるのかみたいになったら困ってしまうと思うので、そうならないようにするために、こういうのを活用しましょうみたいな文を入れておかないと、揚げ足を取られそうな気もしたところです。</p>
事務局	ごみを出さない、ごみにしないということが、このごみ処理基本計画の中でも大前提になります。食べられるものは食べていただくということで、フードバンク等を利用いただければというところがありますので、特にごみという考え方ではなくて、ごみにしないというところで、こういう表記、考え方があるということだけご理解いただければと思います。
委員	誤解を招かないような表現をお願いします。
議長	よろしいですか。どうぞ。
委員	<p>「市民のアクション」で雑紙などの分別とあるのですが、雑紙と普通の紙と二つあるというのが前提ですね？例えば、紙製の容器包装の場合にも、実は分別項目を二つに分けたほうが良いという意見があって、雑紙と普通の紙が一緒になるとリサイクルを阻害するから分けてくれというのがあるんですね。そういう趣旨だとすると、雑紙は何で、そうでないものは何かということのある程度の目安がないと、分からないのではないかと。あるいは、越谷の場合はある括りがあるってやっているとすることであれば、その説明がないといけないかと思います。</p> <p>それから右側の事業者のところ、先ほども食品ロスを出さないというお話が一つあ</p>

	<p>りますとおっしゃったので、ざっと見てみると、食品ロスを出さない話とそうでない話が、節約する話と容器包装などの使い方の工夫の話と、いくつかに分かれています。その分かれているそれ自体は業種に関係ないのだろうと思うんです。事業系一般廃棄物も含めた資源化ということであれば、やっぱりその項目ごとに分けたほうが分かりやすいと思います。いろんな事業所で食品ロスを出さないためにこれをやりましょう。こう節約するためにこれをやりましょうというほうが、やっぱり分かりやすいのではないかなという感じを受けました。</p>
委員	<p>「基本計画の柱」のところですが、全体と比べるとここだけすごく堅いですよね。他は非常に分かりやすいのですが、ここをもうちょっとかみ砕くのか、基本施策の説明は何もないので、この説明に合わせて後ろを作るのか施策の項目ごとに合わせて後ろを作るのか、あるいはこの施策はもう要らないのかなと思ったりもするので、もうちょっと工夫したほうがいいかなという気はします。</p> <p>それと、3 ページに市民と事業者とあるのですが、同じような黄色で、四角で囲っているんで、色を変えるだけでぱっと見てどっちが市民でどっちが事業者というのが分かるのかなという気はします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。ひとまず委員のご意見についてお願いします。</p>
事務局	<p>雑紙については、越谷の場合ですと、燃えるごみの中に雑紙がかなり混ざって捨てられています。雑紙はまとめづらいという性質があって、燃えるごみの中にそのまま入れてしまうというのがあります。雑紙は資源として出せましていう PR は、10 年近くやっていますが、どうしても燃えるごみの中に雑紙類の割合が一定程度、まだあるので、こういう表現をさせていただいています。</p> <p>「事業者向けのアクション」については、今までの議論の中で、事業別ではなくて品目別のほうが分かりやすいだろうという意見があるので、そのようなパターンにしたいと思いますが、事業系廃棄物ですと、市民向けのような形の項目数にはならないのかなと思いますので、その辺は見やすさを工夫していきたいと思います。できれば皆さんから、こういう分け方、見せ方はどうなのかという意見をぜひいただきたいと思います。</p> <p>基本方針、基本施策のところですが、委員がおっしゃったとおり、ここだけすごく堅いのですが、ただここをどう分かりやすくというのが、かなり難しいところであり、逆に、多く載せ過ぎて、先ほどの 1-1 の下はどうなっているというところまでいくと、分かりづらくなってしまいます。少し表現としては堅いのですが、事務局としてはこの辺りが妥当だろうというところで記載をしております。基本方針だけでもいいのではないかという意見が多ければそういう形でもありですし、見せ方としても配置の仕方で分かりやすくできるのか、できればいいアイデアをいただければと思います。</p>
議長	<p>色とかはどうですか。</p>

事務局	色とかについても、ユニバーサルデザイン等も含めた上で、検討させていただければと思います。
議長	その他に何かどうぞ。
委員	先ほどの雑紙の話で誤解してしまったのは、雑紙の分別のところに目がいくのですが、燃やすのをよみましょうという話のようなので、キーワードを分かりやすい、シンプルなものにしたらいいのかなと思いました。右側もそうだと思いますし、あえていうとその裏側の「対処すべきこれからの課題」も全部そうなのですが、役所言葉で書いてあります。これは市民への呼びかけ言葉にしたほうがいいのかなと思ひまして、堅いということとは別に、やっぱりシンプルにしたほうが入るのだろうなと思います。
議長	例えばこんなふうというものはありますか。
委員	例えば、雑紙のところは、紙をリサイクルしましょうみたいな話だと思いますし、食品ロス削減のところは、食品を大事に、食べ物を残さず、リサイクルするとか、活用するような呼びかけ言葉のほうがいいと思います。生ごみの水切りのところは、水を切って生ごみ出しましょうとか、そういう分かりやすいワードにしたほうが、よさそうだと思います。そういう意味では『対応すべきこれからの課題は?』というところも、見た瞬間に読む気がしなくなってしまうので、少し分かりやすい市民言葉にしたほうがいいと思いました。
議長	いろいろご意見あるようですが、いかがでしょうか。
事務局	伝わりにくいところもあると思いますので、アドバイスをいただければと思います。
委員	最後のページの、「経費削減はごみの減量から」という表現はいいのですが、『なぜごみを減らすのか?』は必要ないような気がします。ごみを減らすのは金のためか、みたいに。この一文がなかったら、こうやって費用がいっぱい掛かっているから、それは削減にもつながるのですよというふうには読み取れるのですが、この一言があるために、ごみを減らすのは金のためだけと見えてしまうので、ここは表現を変えるか、なくしたほうがいいかなと思います。
事務局	初期段階の提案として出させてもらっているものなので、修正したいと思います。
議長	大義名分としては資源節約のためとか、保護のためで、お金もかかるみたいな表現のほうが、ダイレクトにお金のためというよりは、いいかなと思います。

	<p>それではその他にあれば、どうぞ。</p>
委員	<p>先ほどの雑紙のところ、雑紙は地区センターでボックス回収と書いてありますが、古紙の日には出してはいけないのですか。</p>
事務局	<p>そういうことではなくて、どうしても出せるのが2週間に1回なので、そこまで待たなくて燃えるごみとして出してしまえば、お近くの地区センターに持っていけば出せますよ、分別、資源として出せますよという意味です。</p>
委員	<p>そうでしたら、古紙の日にも出せるけれども、地区センターにもありますよと入れた方がいいのでは。</p>
委員	<p>2週間溜まって、家に置きたくないという人がいた場合に、地区センターでも集めていますという意味合いですよ。古紙の日にも出せるということは分かっていますか。</p>
事務局	<p>1項目のほうでは、そのような趣旨で書いています。</p>
委員	<p>現実的に地区センターに持って行っている量はどのくらいあるのですか。</p>
事務局	<p>多いところだと、ボックスが1週間で満杯になります。少ないところだと、月に1回ぐらい、取りに行く形になります。</p> <p>年間で大体、700～800キロぐらいかなと思います。</p>
議長	<p>その他に何かございませんか。</p> <p>ご意見があれば1月22日までに連絡していただければ、2月2日の審議会に間に合うということですので、ぜひ建設的なご意見をいただけたらと思います。</p> <p>私の方から1つ、表紙なのですが、非常に重要なので表紙は、ぱっと見て感じのいいものにしていただきたいと思います</p>
事務局	<p>背景も含めて、次回のときまでに修正していきます。</p>
議長	<p>それではご意見が特になければ、議事3はこれで終了したいと思います。</p> <p>その他は何かございますか。</p>
事務局	<p>《 次回のスケジュールについて説明 》</p>
副会長	<p>《 閉会挨拶 》</p>